

令和5年度「12月度役員会」概要報告

羽根野台自治会は、12月9日（土）に役員会を開催しました。

冒頭中野会長から、4月に新しい体制でスタートし、もう12月を迎えた。今年はコロナ禍によって開催中止を余儀なくされた夏祭り、芋煮会を4年ぶりに再開し、また区民センター隣の空き家問題、あるいは50人もネパールからの留学生が一気に団地の住人になったことなど、多くの課題を何とか乗り切ることができた。来年も引き続きご協力を願いたいとの挨拶を行いました。

次いで小池副会長から、「歳末助け合い募金」の結果、庄司生活環境部長から12月2日に実施した年末大掃除の報告、籠谷会長代行から11月25日行った第7消防分団との打ち合わせについて報告しました。

次いで籠谷会長代行から、令和6年度の新班長名簿の確認と、新班長の所属部を決める会議を来年1月13日（土）に開催していくこと確認するとともに、区民センターに隣接する空き家への対応について、①所有者である斎藤家からの寄付を受け、②家屋は解体し、土地の整備を行い、③駐車場を兼ねた多目的広場としていくことを次回総会に諮っていくことを確認しました。

また庄司生活環境部長から年末年始のゴミ収集についての周知、籠谷会長代行から年末パトロール（12月16実施）および次年度監事の募集について提案し確認しました、最後に小池副会長から、夏祭り時に班長が着用している「法被」の代わりに、草刈りや芋煮会あるいは防犯パトロールの際に着用できる「ビブス」の購入について提案し確認しました。



